

ななかまど

札幌市立中島中学校
学校通信 第3号
令和元年7月8日

「よき中島」らしい教育課程を編成して

教頭 村松 信幸

先日、本校の校区に隣接する地域で世間をにぎわす悲しい報道がありました。2歳になる女の子が虐待の疑いで衰弱死しました。報道では、児童相談所や警察など関係機関の連携などについて取り上げていましたが、本質は、若い母親と交際相手の道德心だと考えます。

さて、今年度本校では育成すべき資質・能力として「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を3つの柱とし、「よき中島」らしい教育課程を編成して、『豊かな人間性を身につけた一人一人の生徒の育成』という教育目標の具現化にむけて取り組んでいます。

とくに、昨年度の学校評価をできるだけ反映させることができるように工夫しました。高い評価をいただいた、習熟度別指導・少人数指導と家庭訪問などはさらに充実した形で継続しています。逆に見直しが必要とされたマラソン大会は「陸上競技会」へと変更し、更なる体力の向上に努めるとともに、本校の生徒の発達の段階を考慮した「食」や「健康」に関する指導を充実することで、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるようカリキュラムを再編成しました。

また、前回の学校便りでも触れましたが、今年度の教育課程は、中学校において「道德」が「特別の教科 道德」として教科化されているのが大きな変更点です。今回の道德教育の改善に関する議論の発端となったのは、いじめの問題への対応であり、「命の大切さ」を学ぶことが急務とされたからです。

道德教育は、人間尊重の精神と生命に対する畏（い）敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、未来を拓（ひら）く主体性のある人を育成することを目標としています。

中島中学校では、「人間尊重の精神と生命に対する畏（い）敬の念」を育むために、道德の時間を中核としながら、特別活動・総合的な学習の時間などの様々な教育活動と関連づけ

- 教師と生徒及び家庭との関係を深める教育相談・家庭訪問の実施
- 地域社会との連携を図り社会への参画意識を育む、職場体験活動や中島公園活動
- 豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道德性を育む、旅行的行事や自然体験活動などの、特色ある教育課程を編成して実施しています。

何か嫌なことがあると、「死ね」「消えろ」「きもい」。

そんな言葉を安易に使う傾向が多くなっている時代です。子どもたちが無意識のうちに命を軽く見てはいないだろうか…不安になるときがあります。

中島中学校で「命の大切さ」を学んだ子どもたちが、やがて大人になったとき、子どもを傷つけるのではなく、何があっても子どもを守る、命を大切にすることができる…そんな大人になってほしいと願い、学校全体で「命の大切さ」を学ぶ教育に取り組んでいきます。

■ 7・8月の主な行事予定 ■

7月

- 8日(月) 個人懇談③
- 9日(火) 個人懇談④・漢チャレ復活テスト
- 10日(水) 個人懇談⑤
- 16日(火) 全校道德
- 19日(金) 委員会・学年協
- 23日(火) 終日参観・学年PTA
バザー実行委員会
- 24日(水) 1学期大掃除〔ジャージ登校〕
- 25日(木) 1学期終業式

8月

- 26日(月) 2学期始業式
- 28日(水) 全学年学力テスト・全協
- 29日(木) PTAバザー実行委員会

完全下校日

- 7月 8日(月)、9日(火)、10日(水)、12日(金)
- 8月 26日(月)、30日(金)



旅行的行事を終えて

「修学旅行を経ての成長」

3年1組 江波 ルキシヤ

僕は、今回の修学旅行を経て、様々な能力を高めることが出来ました。自分は元々、少人数の人を先導するのに比べ、大勢の人をまとめることが遥かに苦手です。物事の核となる仕事にあまり干渉してきませんでした。が、中学三年生になり、この修学旅行という行事で、初めて挑戦をしました。実際の修学旅行では、議長や指揮者という立場を用い、集会の司会、学年合唱の指揮等、様々な活動に貢献することが出来、達成感を得ることが出来ました。個人としても、学級としても、今回の行事は今後への大きな糧となったと思います。今後も同じ様な団結力を持ち、あわよくばそれ以上のまとまりで、進めたら良いと思います。



「修学旅行を振り返って」

3年2組 奥田 実桜

この修学旅行で、私は助け合いが大切だということに改めて感じました。修学旅行前に協力が大事だと教わったり先生などに言われてきましたが、やっぱり一人で頑張らなきゃいけないんだと思っていました。ですが、初めての班長としての旅行的行事でやるのがたくさんあったりメンバーをまとめたりと大変で失敗せずに3日間過ごせるか不安になっていた時に、班のメンバーが「今、人員確認じゃない?」「ここ先にまわったらどう?」とアドバイスだったり抜けている所を教えてくれたりしました。一人じゃなくみんなと協力して修学旅行は成功するんだと思います。そこから多少ミスもありましたが、班や学級、学年のメンバーと連携し、3日間成功できたと思います。これからも3年生全体で下級生のお手本になれるようにしたり、助け合いを大切にしていきたいなと思います。

「宿泊学習を終えて」

2年1組 小林 桜奈

中学に入ってから、初めての宿泊を伴う学習で、最初は2日間も学級の人たちと過ごすのがとても不安でした。ですが、班やクラス、学年の人と協力して活動できて、とても楽しく様々な体験をすることができました。この2日間で学んだことはたくさんありますが、特に学んだことは、「人の話を良く聞き、理解しようとする姿勢の大切さ」です。話を聞くことは、今後の活動をすばやくするために内容を聞くことはもちろん大切なのですが、「相手が一番伝えたいことは何なのか」「心でどう思っているのか」をくみ取ることが大切なんだと強く思いました。

「おもしろかったお風呂」

2年4組 工藤 智昭

最初の農業体験でミニトマトを佑君といっしょに200個くらい取りました。園芸ばさみより少し長いきゅうりを収穫しました。それから1時間45分後に化石館に到着しました。ミニ発掘体験をしました。ミニ発掘体験で取った物はアラゴナイトです。ミニ発掘体験でレアな物は取れなかったけど楽しかったです。秩父別ゆう&ゆに到着しました。到着してから、自分が泊まる3階ふじの破損点検でどこも壊れてないかチェックしてから、僕は4組生活係として、室長会議に行きました。次は夕食でした。夕食はハンバーグが美味しかったです。交流時間は佑君と齋藤先生と僕でばば抜きをしました。自動販売機でアクエリアスを買いました。その後楽しみなお風呂です。お風呂ではまずさいしょに大きなお風呂に入りました。その後、ジェットバスに入りました。ジェットバスに入って、疲れが少しとれました。その後、露天風呂に入りました。露天風呂は湯けむりがすごかったです。その後ごえもん風呂に入りました。ごえもん風呂は湯けむりは少ししかありませんでした。その後、シルクの湯に入りました。シルクの湯は湯けむりがすごかったです。その後、電気風呂にはいりました。僕は10分くらい入っていました。



「意識できた3つの『あ』」

1年1組 中川 優加

私は、校長先生がお話しされていた「3つの『あ』」を意識して行動できた野外学習になったかなと感じています。1つ目は、「あいさつ」。思いを伝え合い、人と人とのつながりを求めていくという思いがあります。これについて、私たちは、ちゃんとみんなと声をかけ合って行動できたと思いました。2つ目の「安全」。1人1人が自分自身をコントロールするという自己管理ができるようにということでした。みんなが周りに気を配って安全に行動することを目指して行けたと思います。3つ目の「後片付け」。事後を振り返り、評価を次につなげていくことでした。ただ野外学習が楽しかったなあで終わりにするのではないということ。集中して活動に取り組み、しっかりと振り返りをするところそ日頃からそして学習、日常でも続けていくべき大切な事だと思いました。このように野外学習では、先生方がおっしゃっていたことを忘れずに行動することができたと思います。野外学習という非日常の中で、食の有り難みや自然の大変さがわかりました。不便で大変だけど、これから少しずつ料理を始めてみようかなと思い始めました。私にとって野外学習は、「3つの『あ』」や自然、食の大切さを知れた良い体験になりました。

